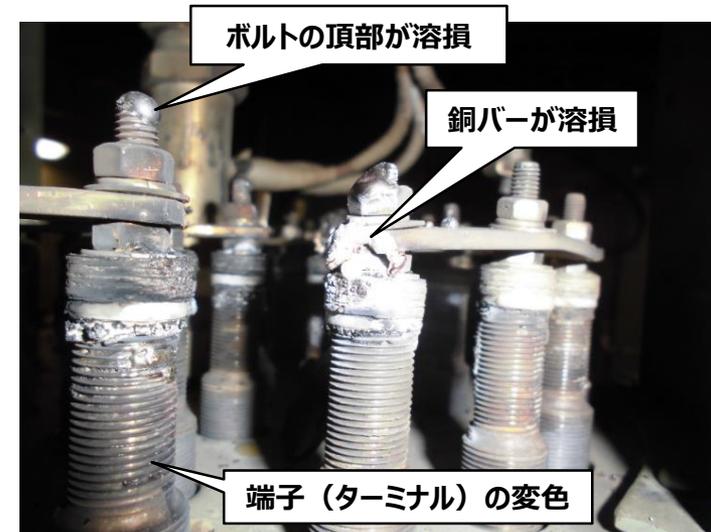
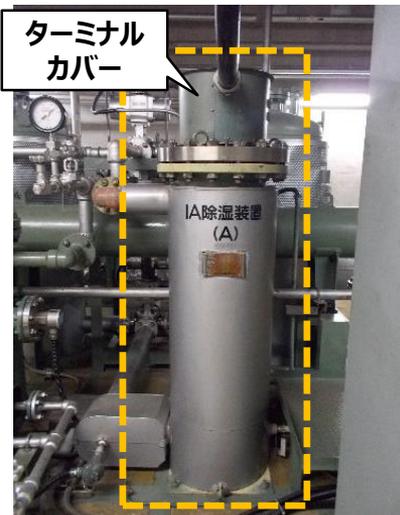


1. 事案の概要

- 2021年9月6日午前11時1分頃、3号機タービン建屋地下3階（非管理区域）において、計装用圧縮空気系除湿装置（IAドライヤ）※1をB系からA系へ切替操作※2したところ、A系のIAドライヤ電気ヒータからの発煙を確認
- 発煙停止後、午前11時47分に柏崎市消防本部が鎮火を判断。その後、IAドライヤ電気ヒータへの電源ケーブル入線部の端子（ターミナル）および電源ケーブルの焼損を確認。
12時35分柏崎市消防本部が火災と判断 （9月9日までにお知らせ済）

※1 流量を制御する弁等に使用する圧縮空気から湿分を除去する設備。

※2 1か月に1回、定期的に切替を実施



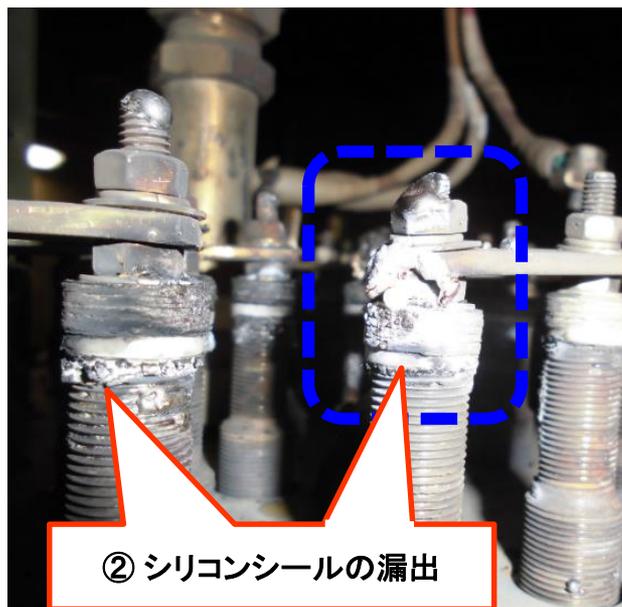
IAドライヤ
電気ヒータ（A系）

焼損部
（ターミナルカバーを外した状態）

2. 調査結果

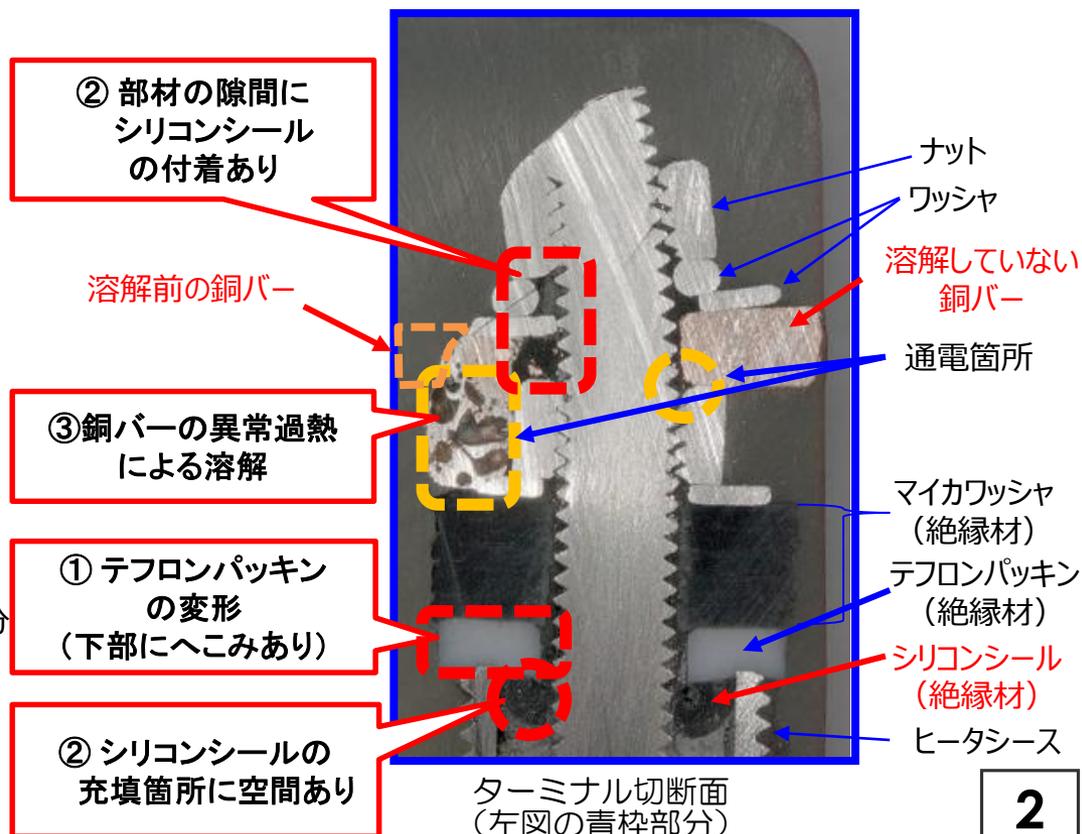
➤ 焼損の大きい端子（ターミナル）を縦方向に切断し、詳細な分解調査を実施。
調査の結果、以下を確認

- ① 絶縁性を保つためのテフロンパッキンの変形（下部にへこみあり）
- ② シリコンシール（絶縁材）の充填箇所に空間あり。一方で、ターミナルの部材（銅バー、ワッシャやナット）の隙間にシリコンシールの付着あり
- ③ 銅バー焼損部で、異常過熱を確認



端子（ターミナル）の外観

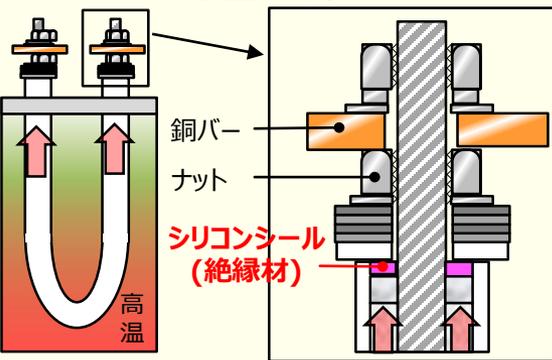
青枠部分
切断



3. 推定原因

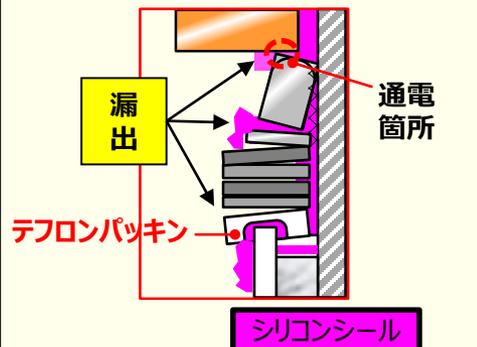
- テフロンパッキンが変形し、漏れ出したシリコンシール（絶縁材）が、銅バーとナットの間に入り込み、通電箇所（銅バーとナット）の接触面積が小さくなった結果、当該箇所が異常過熱し、銅バーが溶解。溶け落ちた銅バーによりショートが発生
- ターミナルカバー内には、銅の溶解により発生した導電性のガスが充満しており、そこでアーク（火花）が発生したことで、ターミナルおよびケーブルを焼損したものと推定

1. ヒータ内圧上昇



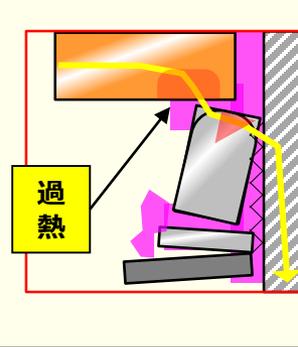
ヒータ内の温度が上昇。シリコンシールなどの体積膨張により、上方に押し出される。

2. シリコンシール漏出



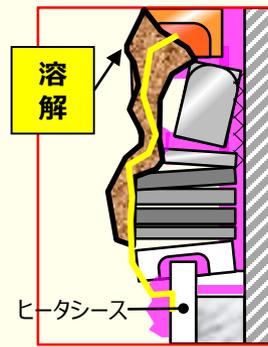
長期使用でテフロンパッキンが変形、隙間にシリコンシールが漏出。

3. 異常過熱



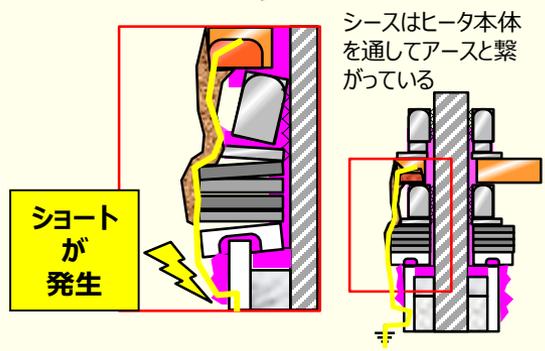
通電箇所の接触面積が小さくなったため異常過熱。

4. 銅バー溶解



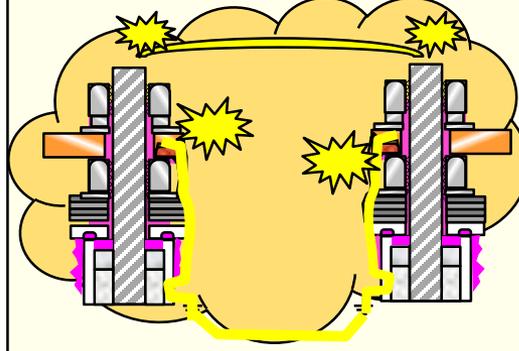
銅バーが溶け落ち、ヒータシース近くまで銅が流出。

5. ショートの発生



銅を通じてシースまで電流が流れたことでショートが発生。この影響で過電圧となり、他のターミナルやターミナル間においてもショートが発生。

6. アークの発生



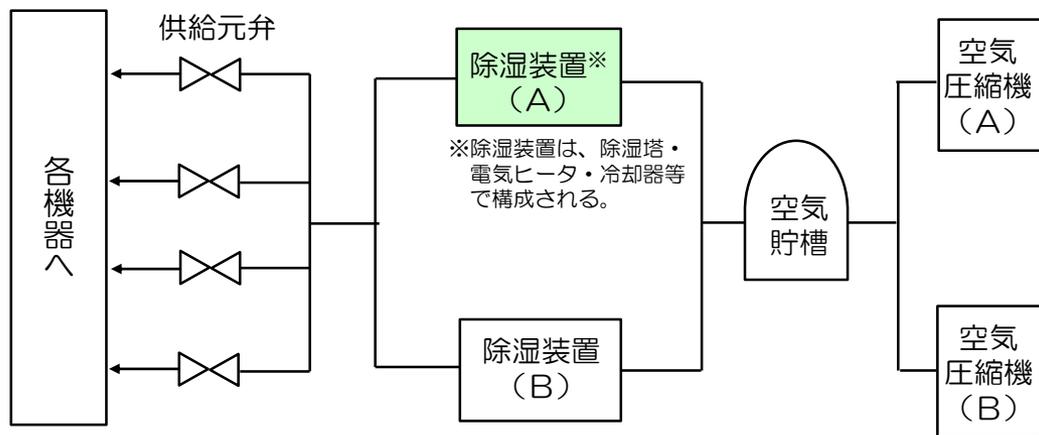
銅がさらに溶解し、導電性のガスとなってターミナルカバー内に拡散され充満。電気を帯びた空間にアーク（火花）が発生したことで、ターミナルボルト頭頂部やケーブルが集中して焼損。

4. 対策

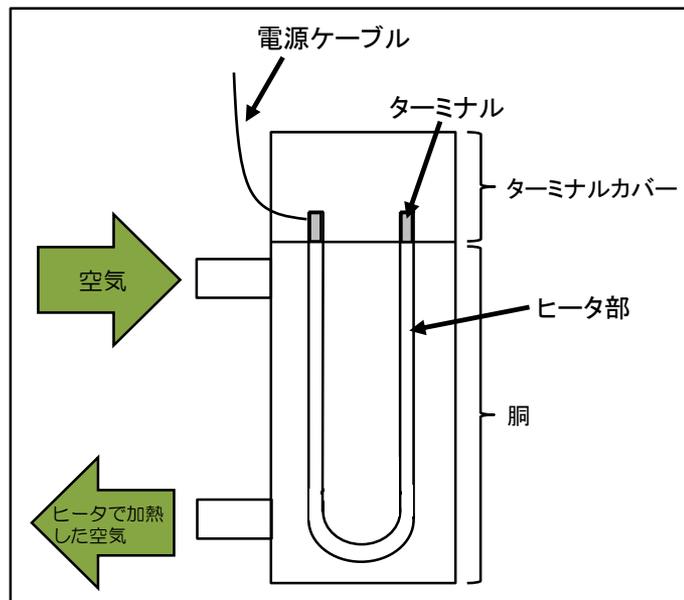
- 当該IAドライヤのターミナル、ヒータ部、損傷した電源ケーブルについては、交換を実施（2022年1月完了予定）
- 従来、シリコンシールの漏出による異常過熱を想定した点検内容としていなかったことから、今後の点検については、シリコンシールの端子部への漏出有無を確認
- また、現在、発電所構内の同構造のヒータを抽出し、同様の観点で点検を実施中。点検の中で、シリコンシールの異常等が確認された場合、速やかに補修等を実施することで、同様事案発生リスクの低減を図る

【参考】

計装用圧縮空気系（IA系）系統図

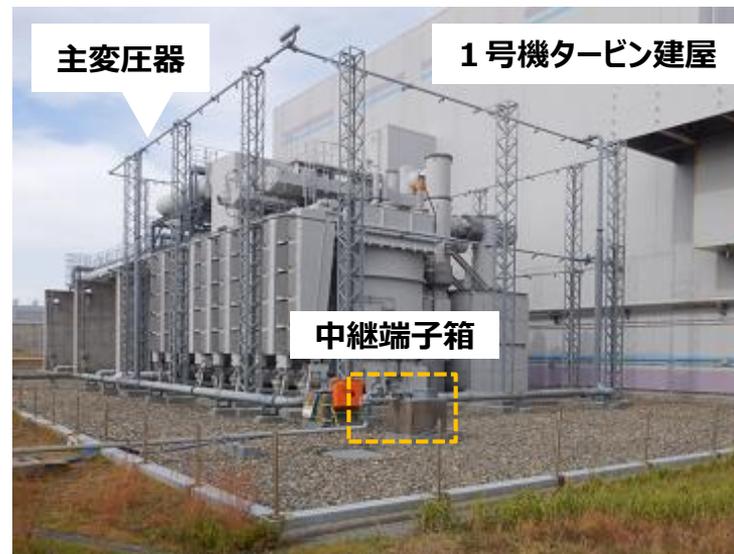
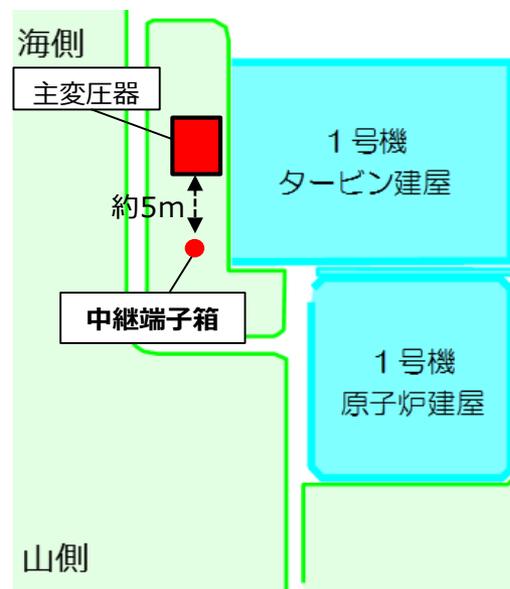


IAドライヤ電気ヒータ 概要図

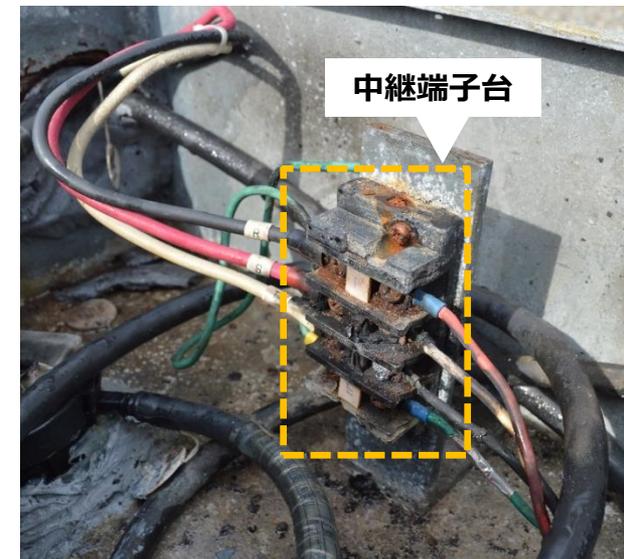


1. 事案の概要

- 2021年10月24日午後3時31分、1号機主変圧器エリア（屋外）において、排水ポンプの異常を知らせる警報が発生し、ポンプが自動停止。現場にて、電源盤を確認し電源に異常が無いこと、当該排水ポンプ周辺を確認し発煙や異臭などが無いことを確認
- 10月25日、詳細確認を実施。午後4時43分、排水ポンプの中継端子箱を確認したところ中継端子台およびケーブルに焦げ痕（異臭・発煙なし）を確認。その後、柏崎市消防本部による現地確認の結果、同日午後6時48分に火災と判断
- 10月26日、当該の排水ポンプ近傍に仮設の排水ポンプを設置。その後、火災の原因について調査を実施（10月28日までにお知らせ済）



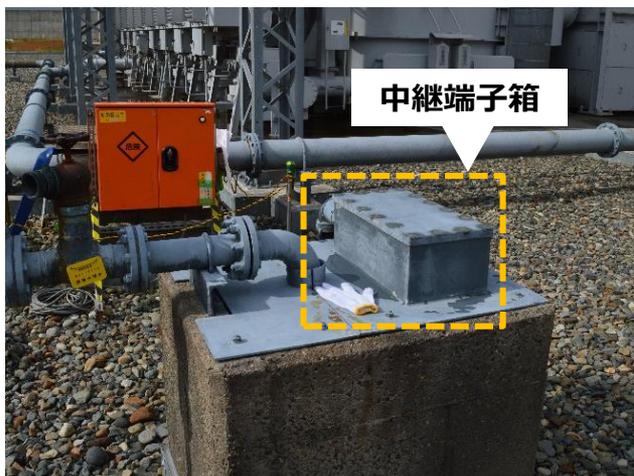
発生場所



焦げ痕が確認された中継端子台
およびケーブル

2. 調査結果

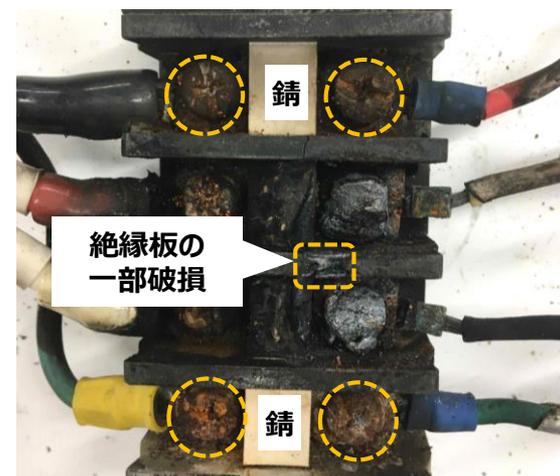
- 当該中継端子台が収納されている中継端子箱内部の目視確認に加え、端子台を取り外し詳細観察を実施。調査の結果、以下を確認
 - ✓ 中継端子箱のケーブル貫通部において、気密性保持のためのシール材が一部劣化
 - ✓ 中継端子箱内および上蓋の内側に水分あり
 - ✓ 中継端子台の金属部分（端子）に錆あり
 - ✓ 中継端子台の絶縁板が一部破損
- 他の変圧器用に設置している屋外の排水ポンプの中継端子箱（11箇所）についても同様の観点で調査を実施。シール材の劣化、水分、錆等の異常は確認されず



中継端子箱外観



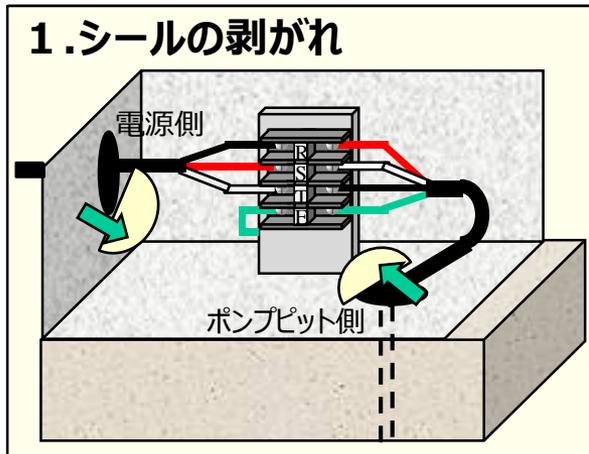
中継端子箱内



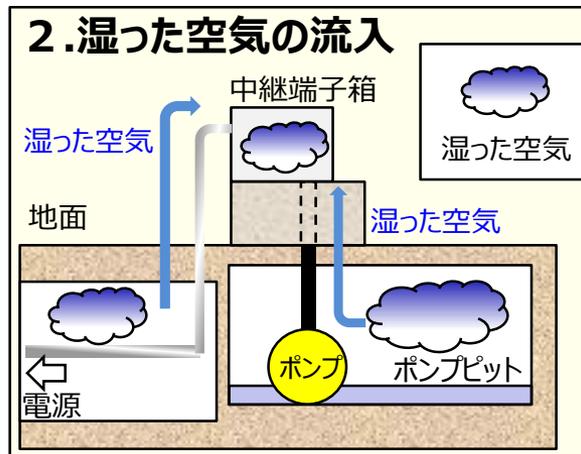
中継端子台

3. 推定原因

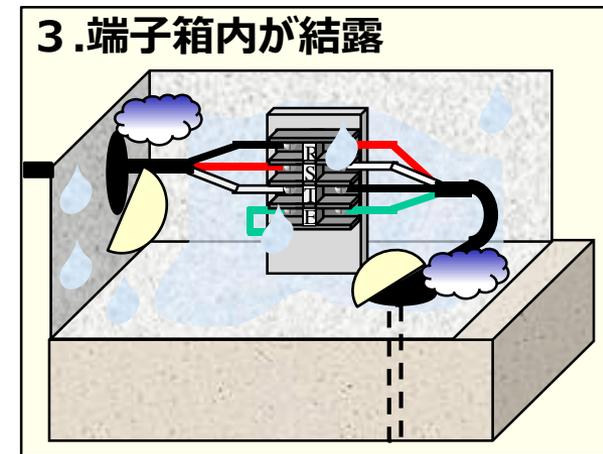
- 貫通部シール材の劣化により、電源側およびポンプピット側から湿った空気が流入。中継端子箱内で冷やされ結露が発生。結露の水分で端子が錆び、その錆の影響で絶縁抵抗が低下し、短絡（ショート）が発生。その熱によって端子とケーブル被覆が焦げたものと推定



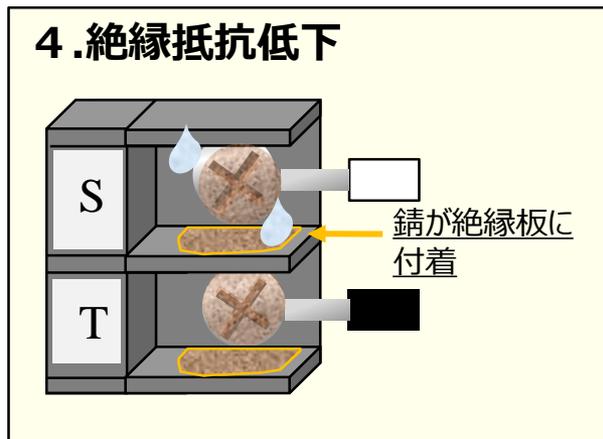
長期使用により固くなったシール材が剥がれる



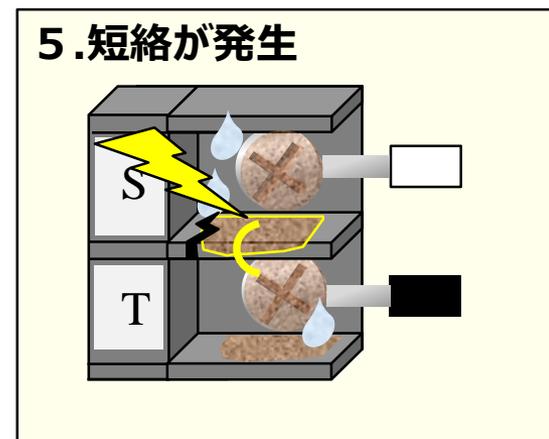
電源側とポンプピット側から
湿った空気が中継端子箱内に流入



中継端子箱内で結露が発生。
端子が徐々に錆びる



2～3の繰り返しで端子の錆が結露水と混ざり
絶縁板に付着。導電性となり絶縁抵抗が低下



絶縁抵抗が低下したことで短絡が発生

4. 対策

- 当該中継端子台については、中継端子箱内のシール材の補修およびケーブルの再接続を実施。自動停止した排水ポンプについても交換を行い、動作に問題がないことを確認済
- 今後の点検については、シール材の劣化状況なども確認し、定期的に手入れを実施
- また、現在、屋外にある端子台にも範囲を拡大し、同様の観点で点検を実施中。点検の中で、シール材の劣化、水分、錆び等が確認された場合、速やかに補修等を実施することで、同様事案の発生リスク低減を図る



補修前のシール材



補修後のシール材

1. 事案の概要

- 2021年11月11日、発電所敷地周辺に設置しているモニタリングポスト（MP）※1 9台のうち、隣接している3台(MP-7,8,9)において、11月9日午後9時頃から11月10日午前3時頃までの期間の値が他のMPの測定値の推移と異なっており、測定値に異常の可能性があることを確認
- 同日、速やかに当該MP3台の近傍に可搬式のMPを設置し、空間線量率に異常が発生していないことを確認（代替測定を継続）。また、当該期間の全ての排気筒モニタ※2にも異常がないことを確認。
- 11月12日、当該MPを調査したところ、測定機能は、正しくデータが記録されていることを確認。データを外部へ伝送する過程で何らかの不具合が発生し、データが適切に表示されなかったものと判断

※1 発電所敷地周辺の9箇所に設置され、空間線量率を測定する装置

※2 建屋内の空気を環境へ放出する際の放射線を測定する装置

(11月12日にお知らせ済)

2. 調査結果

- 測定値の異常が確認された3台（MP-7、8、9）は、2021年10月よりMP検出器およびMP測定部のリプレースを実施していることから、何らかの原因があるのではと推定。

調査の結果、以下を確認

- ✓ MP検出器から送られるデータは、MP測定部で正常に受信（下図①）
- ✓ MP測定部の受信データと、それを外部に伝送する装置（テレメータ観測局装置）のデータ相違を確認（下図②）

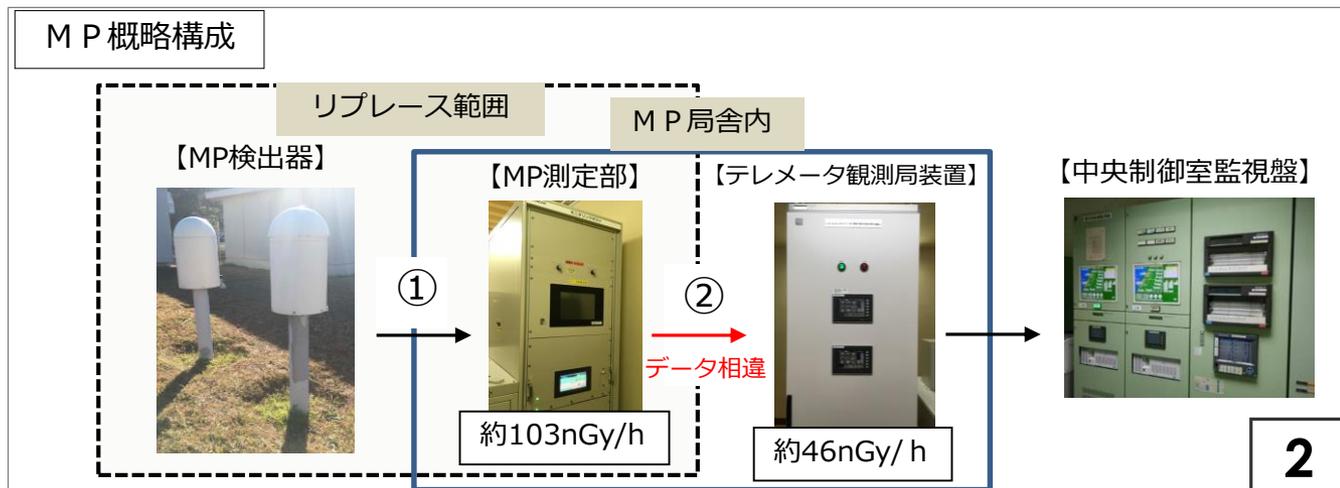
（例：MP-7は、MP測定部のデータは約103nGy/h^{※1}テレメータ観測局装置のデータは約46nGy/h）

- ✓ テレメータ観測局装置は、MP測定部からデータ送信する際の周波数が500kHzを超えると正常にデータ受信ができない仕様であったが、リプレースの際、MP測定部の周波数^{※2}が600kHzになっていたことを確認

なお、11月22日、当該MP 3台は周波数を120kHzに設定変更を行い、復旧済

※1 1時間あたりに受ける放射線の量を表す単位

※2 当該MP測定部は、周波数を600kHzまたは120kHzに選択する仕様

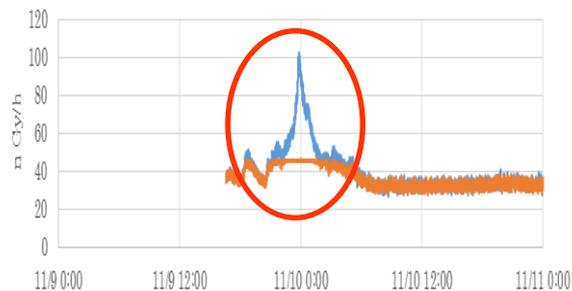


(参考) MP測定部とテレメータ観測局装置におけるデータの相違

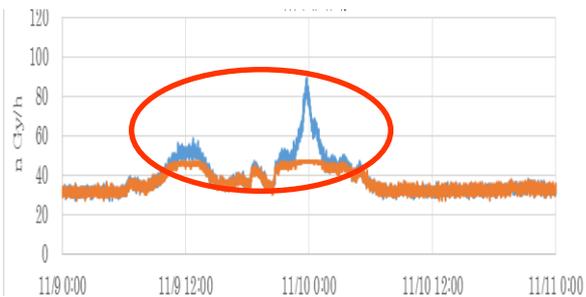
- 当該MP 3 台において、MP測定部のデータとテレメータ観測局装置のデータを比較
- 空間線量率が上昇傾向となる降雨時、MP測定部のデータは上昇していたが、テレメータ観測局装置のデータは上昇していない

— テレメータ観測局装置のデータ
— MP測定部のデータ

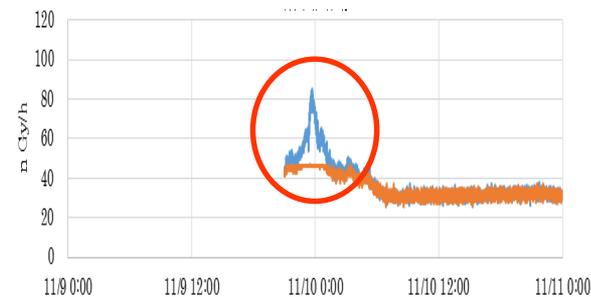
MP-7



MP-8



MP-9



※原因調査のために回収した当該3台のMP測定部のデータのグラフと
テレメータ観測局装置のデータのグラフを合成したもの

3. 原因と対策

【原因】

- ①MPをリプレースした際、MP測定部からのデータを受信するテレメータ観測局装置の受信条件を、MP測定部をリプレースしたメーカーに確認するよう指示していなかったこと。また、メーカーもテレメータ観測局装置の受信条件を当社に確認しなかったこと
- ②リプレース後の伝送試験において、MP測定部とテレメータ観測局装置間のデータ相違を誤差の範囲と誤認し、データ相違を確認できなかったこと
(リプレース以前は、定期検査にてデータに異常が無いことを確認済)

【対策】

- ①リプレース時は、MP測定部からテレメータ観測局装置への送受信の伝送条件を事前に確認し、仕様書上に明示するよう、当社からメーカーに指示。仕様書の内容について各装置※のメーカーと当社で確認。加えて、所内の専門グループでも仕様書の内容について確認を実施
- ②リプレース時の伝送試験において、データの誤差が生じた際、装置の異常の有無を判断する明確な基準を設定

※MP測定部とテレメータ観測局装置

主な原因		対策
①	当社	リプレース時は、MP測定部からテレメータ観測局装置への送受信の伝送条件を事前に確認し、仕様書上に明示するようメーカーに指示 仕様書の内容について、各装置のメーカーと当社で確認 加えて、所内の専門グループ(計測制御系)でも確認を実施
	メーカー	
②	当社	伝送試験における明確な判断基準を設定 試験はMP検出器、MP測定部、テレメータ観測局装置、中央制御室監視盤、各々のデータが正しい値であることを確認

柏崎刈羽原子力発電所 建物・構築物の 中越沖地震後の点検について

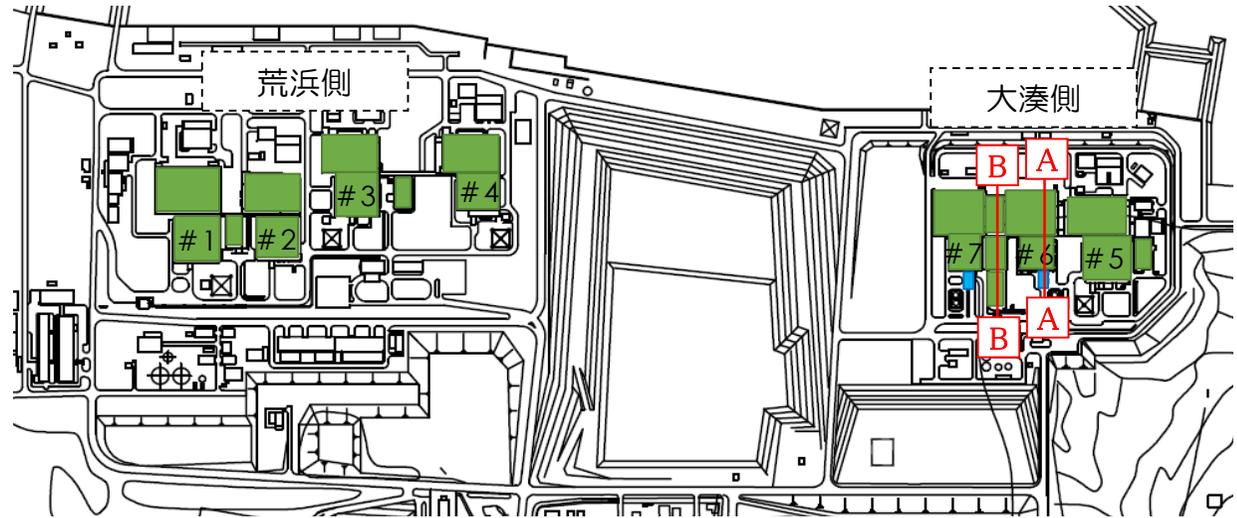
2021年12月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

本資料の位置付け

- 新規制基準施行にともなう耐震強化工事を実施中の6号機大物搬入建屋において、基礎の杭頭部の一部に損傷を発見
(11月4日お知らせ済み)
- 杭の損傷状況については、現在、作業安全を確保しながら調査を実施中。
あわせて、発生原因についても、現在調査を行っているところ
- 発生原因については地震との関連も含め、調査中であるが、地域の皆さまから原子力発電所の建物・構築物全般の地震影響についてご心配をいただいていることから、これら設備の中越沖地震後の点検状況について、
本日も説明するもの

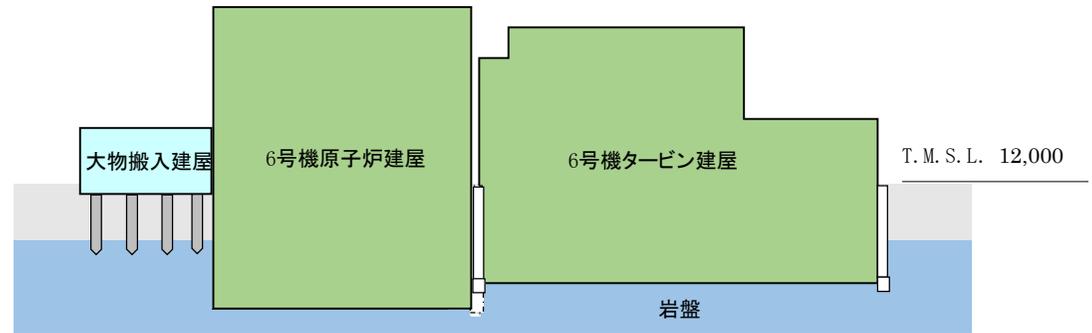
岩盤に直接支持されている主要建物

建屋名称	号機
原子炉建屋	1,2,3,4,5,6,7
タービン建屋	1,2,3,4,5,6,7
コントロール建屋	6/7 ※1
廃棄物処理建屋	6/7 ※1
サービス建屋	1/2,3/4,5,6/7

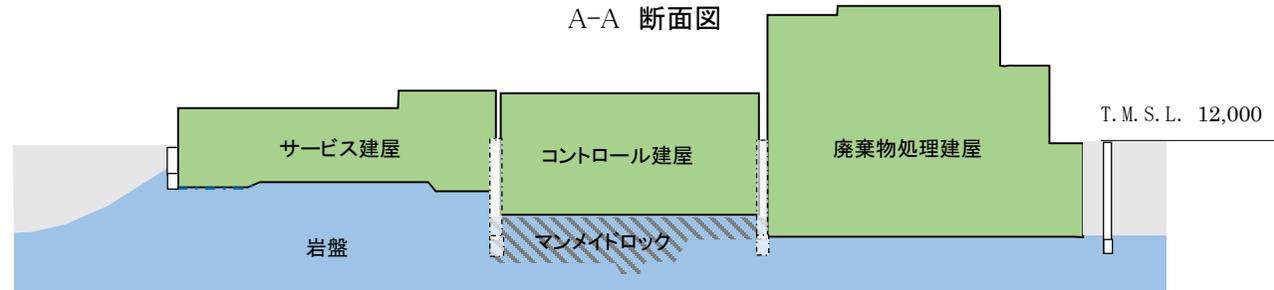


原子力発電所の主要な建物は、岩盤に直接支持されている。

これら主要な建物は、2年に1回の頻度でコンクリートひび割れ、浮き・剥離等の点検を、半年に1回の頻度で沈下測定を実施して設備の健全性を確認している。



A-A 断面図



B-B 断面図

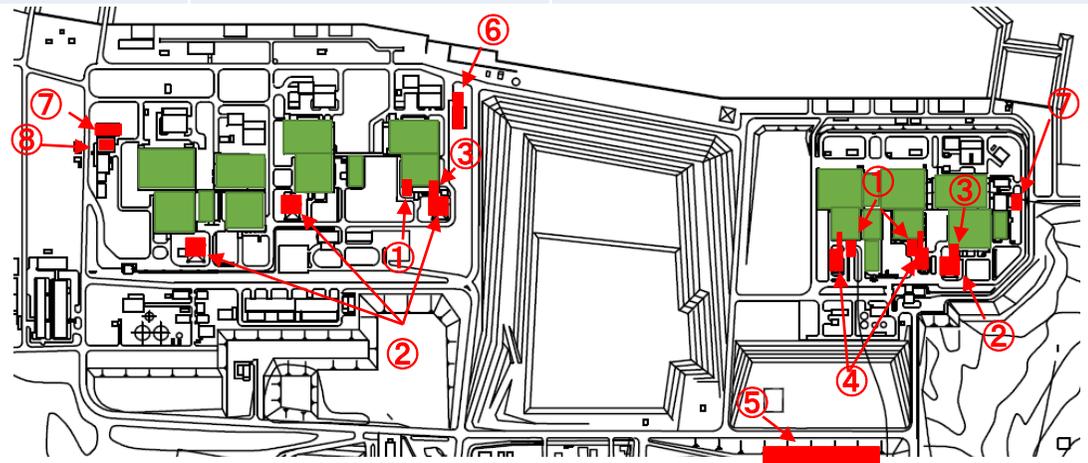
主要な杭基礎形式の設備※

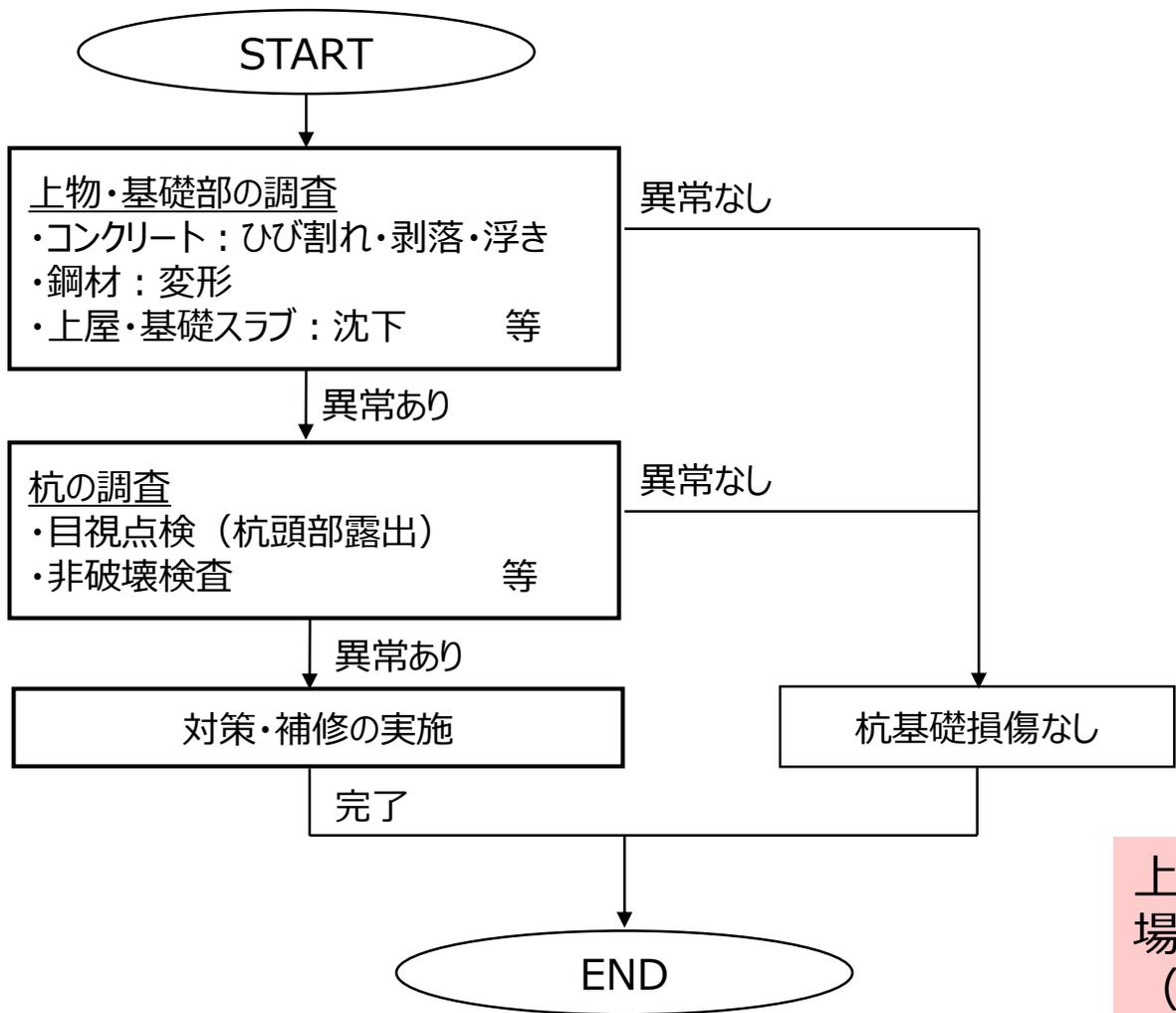
番号	設備名称	号機	新規制基準における耐震クラス	杭基礎形式（中越沖地震時）
①	大物搬入建屋 ※2	4,6,7 ※3	S	場所打ちコンクリート杭
②	主排気筒	1/2,3,4,5 ※4	C(Ss)	場所打ちコンクリート杭
③	非常用ガス処理系配管ダクト	4,5 ※5	C(Ss)	鋼管杭
④	軽油タンク基礎 燃料移送系配管ダクト	6,7 ※6	C(Ss) C(Ss)	鋼管杭
⑤	固体廃棄物貯蔵施設（既設） "（増設）	共用	B C	工場製コンクリート杭
⑥	使用済燃料輸送容器保管建屋	共用	C	場所打ちコンクリート杭
⑦	焼却炉建屋	共用	B	工場製コンクリート杭
⑧	ランドリ建屋	共用	C	工場製コンクリート杭

杭基礎形式は一部の設備に限られる。

これら杭基礎構造物についても、主要な建物と同様に、定期的な点検・測量を行って健全性を確認している。

※7号機設工認「V-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針」記載設備のうち、中越沖地震以前に設置していた杭基礎構造物。新規制基準後の補正申請前の号機は、申請時の耐震重要度分類を想定して記載。





杭調査例

上物・基礎部に異常が認められた場合に、杭を対象とした詳細調査（杭頭部を露出させての目視確認等）を実施することとしている。

<参考> 杭基礎形式の構造物の中越沖地震以降の点検状況

構造物名称	上物・基礎部の調査結果	杭の調査		対策
		調査状況	調査結果	
大物搬入建屋 ※2	異常なし	・杭頭部目視点検（6号機） （安全対策工事に伴い実施）	損傷あり	検討中
主排気筒	5号機：上部鋼構造にボルトの緩み等	・杭頭部目視点検 ・非破壊検査	異常なし	—
	1/2、3、4号機：異常なし	同上（念のため実施）	異常なし	—
非常用ガス処理系配管ダクト	4号機：ダクト底版に変位・ひび割れ等	・杭頭部目視点検	残留変位あり（傾斜）	補強（増杭）
	5号機：異常なし	同上（念のため実施）	異常なし	—
軽油タンク基礎・燃料移送系配管ダクト	異常なし	・杭頭部目視点検（6号機） （安全対策工事に伴い実施）	異常なし	—
固体廃棄物貯蔵施設	異常なし	・杭頭部目視点検 ・非破壊検査（念のため実施）	異常なし	—
使用済燃料輸送容器保管建屋	異常なし	・杭頭部目視点検 （念のため実施）	異常なし	—
焼却炉建屋	異常なし	—	—	—
ランドリ建屋	異常なし	—	—	—

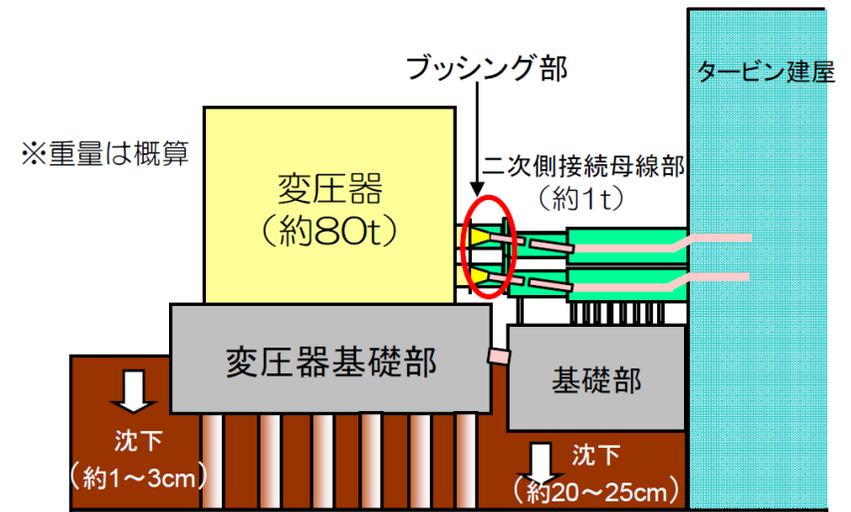
地震後点検フローに従い、上物・基礎部に異常が認められた設備については杭周辺を掘削し、杭頭部を目視で確認するなどの調査を行った（表中赤）。異常が認められなかった設備についても、類似設備の変状を考慮する等して、念のために杭を対象とした調査を実施したものもある（表中青）。

<参考> その他設備で杭の詳細調査を行った例

3号機所内変圧器基礎（杭基礎構造）については、周辺設備（直接基礎）との間の不等沈下に伴うブッシング部の破損が火災の発生原因となったことから、念のため基礎下を掘削し、外観目視点検等の詳細調査を行った。調査の結果、所内変圧器基礎の杭が損傷していないことを確認している。また、同様の調査を1, 2, 7号機の主変圧器等基礎についても実施している。



杭確認時の様子



イメージ図

※ 脚注補足

- ※ 1 1～5号機のコントロール建屋および廃棄物処理建屋の機能については、原子炉建屋内に配置されている
- ※ 2 原子炉建屋原子炉区域に含む
- ※ 3 1,2,3,5号機大物搬入建屋は、杭基礎ではなく直接基礎形式。
- ※ 4 6,7号機排気筒は、原子炉建屋（直接基礎）屋上に設置されている。
- ※ 5 1～3号機非常用ガス処理系配管ダクトは、杭基礎ではなく直接基礎形式。また、6.7号機非常用ガス処理系配管ダクトは存在しない。（排気筒が原子炉建屋屋上に設置されているため）
- ※ 6 1～5号機の軽油タンクは、熱交換器建屋（直接基礎）屋上に設置されている。

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2021年12月)

2021年12月9日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4 ~ 2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3 ~ 2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12 ~ 2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9 ~ 2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24 ~ 2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31 ~ 2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18 ~ 2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (11月末現在)

11月	0.0%
2021年度累計	0.0%
運転開始後累計	42.1%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (11月末現在)

11月	0
2021年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (11月末現在)

当月発生本数	13
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,939
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2021年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (12月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	796	2,298	53%
	刈羽村	72	260	6%
	その他	138	1,054	21%
	小計	1,006	3,612	79%
県外		123	1,071	21%
合計		1,129	4,683※2	-
		5,812		100%
協力企業社数(社)		736		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考：12月1日の協力企業構内入構者数3293人

⑦ 来客情報(人) (11月末現在)

	11月	年度累計
地元	1,170	8,272
県内	547	3,441
県外	363	1,668
国外	5	23
合計	2,085	13,404

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
12月11日、12日	コミュニケーションブース(道の駅 西山 ふるさと公苑、刈羽ふれあいサロン き・な・せ)
12月18日、19日	サービスホールイベント(エコロンの森にあつまれ！)
12月23日	定例所長会見(予定)
1月6日、7日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館)
1月13日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

発生日	2021年9月6日		
号機	3号機	件名	タービン建屋における計装用圧縮空気系除湿装置からの発煙の発生について（区分：I）
【事象の発生】 2021年9月6日午前11時1分頃、3号機タービン建屋地下3階非管理区域において、計装用圧縮空気系除湿装置（IAドライヤ）※の定例切替を行っていたところ、発煙を確認し、11時3分に119番通報を実施しました。発煙確認後、直ちに機器を停止したことにより発煙は停止し、発火も確認されなかったことから消火活動は実施しておりません。また、公設消防による現場確認の結果、11時47分に鎮火を判断いただきました。その後、電源ケーブルの被覆に焼損が確認されたことから、12時35分に火災と判断されました。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。 ※計装用圧縮空気系除湿装置：流量を制御する弁等に使用する圧縮空気から湿分を除去する設備。 (2021年9月6日にお知らせ済み)			
①	【調査結果】 焼損の大きいIAドライヤ電気ヒータへの電源ケーブル入線部の端子（ターミナル）を縦方向に切断し、詳細な分解調査を実施したところ、以下を確認しました。 <ul style="list-style-type: none">・絶縁性を保つためのテフロンパッキンの変形（下部にへこみあり）・シリコンシール（絶縁材）の充填箇所に空間あり。一方で、ターミナルの部材（銅バー、ワッシャやナット）の隙間にシリコンシールの付着あり・銅バー焼損部で、異常過熱を確認		
【推定原因】 テフロンパッキンが変形し、漏れ出したシリコンシール（絶縁材）が、銅バーとナットの隙間に入り込み、通電箇所の接触面積が小さくなった結果、当該箇所が異常過熱して銅バーが溶解しました。溶け落ちた銅バーによりショートが発生しました。ターミナルカバー内には、銅の溶解により発生した導電性のガスが充満しており、そこでアーク（火花）が発生したことで、ターミナルおよびケーブルを焼損したものと推定しています。			
【対策】 当該IAドライヤのターミナル、ヒータ部、損傷した電源ケーブルについては交換を実施します（2022年1月完了予定）。従来、シリコンシールの漏出による異常過熱を想定した点検内容としていなかったことから、今後の点検では、シリコンシールの端子部への漏出有無を確認します。また、現在、発電所構内の同構造のヒータを抽出し、同様の観点で点検を実施しております。点検の中で、シリコンシールの異常等が確認された場合、速やかに補修等を実施することで、同様事案発生リスクの低減を図ってまいります。			

プレス公表（運転保守状況）

発見日	2021年10月25日		
号機	1号機	件名	主変圧器エリアの排水ポンプにおける端子台およびケーブルの火災について（区分：I）

【概要】

2021年10月24日午後3時31分、1号機主変圧器エリア（屋外）において、排水ポンプの異常を知らせる警報が発生し、ポンプが自動停止しました。現場にて、電源盤を確認し電源に異常が無いこと、当該排水ポンプ周辺を確認し発煙や異臭などが無いことを確認しました。翌10月25日午後1時30分、排水ポンプピット*1内の確認、ポンプの外観点検、絶縁抵抗測定に着手し、午後4時43分、排水ポンプの中継端子箱を確認したところ中継端子台*2およびケーブルに焦げ痕（異臭・発煙なし）を確認しました。その後、午後6時20分から柏崎市消防本部が現地を確認し、午後6時48分に火災と判断されました。

10月26日、当該の排水ポンプ近傍に仮設排水ポンプを設置しています。なお、他の変圧器用に設置してある屋外の排水ポンプの中継端子箱（11箇所）については、焦げ痕や異臭などの異常が無いことを確認しています。

今回、焦げ痕が確認された端子台については、10月27日に取外しを完了しています。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。

（2021年10月28日までにお知らせ済み）

【調査結果】

当該端子台が収納されている中継端子箱内部の目視確認に加え、端子台を取り外し詳細観察を実施したところ、以下を確認しました。

- ・中継端子箱のケーブル貫通部において、気密性保持のためのシール材が一部劣化
- ・中継端子箱内および上蓋の内側に水分あり
- ・中継端子台の金属部分（端子）に錆あり
- ・中継端子台の絶縁板が一部破損

また、他の変圧器用に設置している屋外の排水ポンプの中継端子箱（11箇所）についても同様の観点で調査を実施したところ、シール材の劣化、水分、錆等の異常は確認されませんでした。

【推定原因】

貫通部シール材の劣化により、電源側およびポンプピット側から湿った空気が流入。中継端子箱内で冷やされ発生した結露の水分で端子が錆び、その影響で絶縁抵抗が低下し、短絡（ショート）が発生。その熱によって端子とケーブル被覆が焦げたものと推定しています。

【対策】

当該中継端子台については、中継端子箱内のシール材の補修およびケーブルの再接続を実施しました。自動停止した排水ポンプについても交換を行い、動作に問題がないことを確認しています。今後の点検については、シール材の劣化状況なども確認し、定期的に手入れを実施します。また、現在、屋外にある端子台にも範囲を拡大し、同様の観点で点検を実施しております。点検の中で、シール材の劣化、水分、錆び等が確認された場合、速やかに補修等を実施することで、同様事案発生リスクの低減を図ってまいります。

*1 排水ポンプピット

変圧器周辺には変圧器内部の絶縁用の油の漏えいに備えた防油堤が備えてあり、その防油堤に流れた雨水をためるために、防油堤地下に設置されている設備

*2 中継端子台

ポンプ側ケーブルと電源側ケーブルを接続させるための部品

プレス公表（運転保守状況）

発見日

2021年11月12日

号機

—

件名

モニタリングポストの測定値異常について（区分：Ⅱ）

【概要】

2021年11月11日、発電所敷地周辺に設置しているモニタリングポスト（MP）※19台のうち、隣接している3台（MP-7,8,9）において、11月9日午後9時頃から11月10日午前3時頃までの期間の値が他のMPの測定値の推移と異なっており、測定値に異常の可能性があることを確認しました。同日、速やかに当該MP3台の近傍に可搬式のMPを設置し、代替測定を実施するとともに空間線量率に異常が発生していないことを確認しています。また、当該期間の全ての排気筒モニタ※2にも異常がないことを確認しています。11月12日、当該MPを調査したところ、測定機能は、正しくデータが記録されていることを確認しており、データを外部へ伝送する過程で何らかの不具合が発生し、データが適切に表示されなかったものと判断しました。

※1 発電所敷地周辺の9箇所に設置され、空間線量率を測定する装置

※2 建屋内の空気を環境へ放出する際の放射線を測定する装置

（2021年11月12日にお知らせ済）

【調査結果】

測定値の異常が確認されたMP3台は、2021年10月よりMP検出器およびMP測定部のリプレースを実施していることから、何らかの原因があるのではと推定して調査を行い、以下を確認しました。

- ・MP検出器から送られるデータは、MP測定部で正常に受信されていること。
- ・MP測定部の受信データと、それを外部に伝送する装置（テレメータ観測局装置）のデータに相違があること。
- ・テレメータ観測局装置は、MP測定部からデータ送信する際の周波数が500kHzを超えると正常にデータ受信ができない仕様であったが、リプレースの際、MP測定部の周波数※3が600kHzになっていたこと。（11月12日、当該MP3台は周波数を120kHzに設定変更を行い、復旧済）

【原因】

- ①MPをリプレースした際、MP測定部からのデータを受信するテレメータ観測局装置の受信条件を、MP測定部をリプレースしたメーカーに確認するよう指示していなかったこと。また、メーカーもテレメータ観測局装置の受信条件を当社に確認しなかったこと。
- ②リプレース後の伝送試験において、MP測定部とテレメータ観測局装置間のデータ相違を誤差の範囲と誤認し、データの相違を確認できなかったこと。

【対策】

- ①リプレース時は、MP測定部からテレメータ観測局装置への送受信の伝送条件を事前に確認し、仕様書上に明示するよう、当社からメーカーに指示。仕様書の内容について各装置のメーカーと当社で確認。加えて、所内の専門グループでも仕様書の内容について確認を実施。
- ②リプレース時の伝送試験において、データの誤差が生じた際、装置の異常の有無を判断する明確な基準を設定。

※3 当該MP測定部は、周波数を600kHzまたは120kHzに選択する仕様

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	—	件名	7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて（区分:Ⅲ）	発生日	2021年5月12日
----	---	----	-------------------------------	-----	------------

不適合情報

2021年11月1日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	排気筒モニタ建屋校正スタックモニタ室の空調機に異常を示す警報が発生し、自動停止していることを確認した。当該空調機を点検・修理。	2021/10/25	
2	7号機	中央制御室換気空調系再循環送風機手動起動試験後に、再循環フィルタ高性能粒子フィルタ差圧計に指示不良を確認した。当該差圧計を交換。なお、中央制御室の換気空調機能に影響なし。	2021/10/27	

不適合情報

2021年11月2日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G グレード 0件

2. G グレード 0件

3. G グレード 13件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(B)海水側の水抜き時、海水入口弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2021/10/28	
2	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器の切り替え(B-A)後に貝殻除去装置差圧計の隔離処置を行ったところ、指示値の上昇を確認した。調査の結果、差圧計均圧配管の閉塞と判断。当該配管を清掃。	2021/10/28	
3	2号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室の電子計算機に、異常を示す警報の発生/復旧を確認した。警報復旧後の稼働状態に異常はないため、継続して監視を実施。	2021/10/27	
4	3号機	直流125V充電器盤(3A)直流電圧計の指示値確認において、位置保持型スイッチの切り替え操作を行ったところ、固着により切り替え操作ができなくなったことを確認した。当該スイッチを交換。	2021/10/27	
5	3号機	タービン補機冷却海水系ポンプ吐出ヘッダ圧力計の指示値とプロセス計算機の表示値に相違があることを確認した。調査の結果、吐出ヘッダ圧力計の指示値ずれと判断。当該圧力計を点検・修理。	2021/10/28	
6	4号機	タービン建屋No.1天井クレーン北側セラストバッファー(衝突緩衝材、2個)に破損を確認した。当該バッファーを交換。	2021/10/27	
7	4号機	タービン建屋No.2天井クレーン南側および北側のセラストバッファー(衝突緩衝材、4個)に破損を確認した。当該バッファーを交換。	2021/10/27	
8	6号機	サービス建屋換気空調補機常用冷却水系冷凍機(A)点検時、タイマー(制御電源監視)動作ランプの不点灯および動作不良を確認した。当該タイマーを交換。	2021/10/26	
9	6号機	サービス建屋換気空調補機常用冷却水系冷凍機(A)点検時、タイマー(連続再起動防止)動作ランプの不点灯および動作不良を確認した。当該タイマーを交換。	2021/10/26	
10	その他	大容量送水車(1台)の定例試験時、送水ポンプが起動できないことを確認した。当該ポンプを点検・修理。なお、他の大容量送水車に問題はなく、保安規定に基づく機能要求に問題なし。	2021/10/26	
11	その他	防護設備点検作業において、協力企業が作業に関わる書類を当社へ提出しないまま作業を行っていたことを確認した。再教育を実施。	2021/10/26	
12	その他	竜巻影響エリア車両監視システムのアップデート作業において、Aゲート山側端子箱のドレン部から水が流出していることを確認した。当該システムの電源を停止。端子箱に水が流入した原因を調査し修理。なお、当該システムは試運用につき、システム停止によるプラントへの影響なし。	2021/10/28	
13	その他	竜巻影響エリア車両監視システム端子箱に水が流入した原因を調査するため、監視カメラへ電源を供給している無停電電源装置の電源を遮断したにもかかわらず、監視カメラに電源が供給されていることを確認した。調査の結果、無停電電源装置への配線が誤接続されていることを確認した。当該の原因を調査。	2021/10/29	

不適合情報

2021年11月4日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1.G グレード 0件

2.G グレード 0件

3.G グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	残留熱除去系・燃料プール冷却浄化系・原子炉冷却材浄化系・原子炉補機冷却系・高圧炉心スプレィディーゼル補機冷却水系の温度記録計(打点No.)の指示値が上限を超えていることを確認した。調査の結果、記録計ケーブル端子の緩みおよび汚れを確認した。当該ケーブル端子を清掃し、指示値が正常に戻ったことを確認済み。	2021/10/29	
2	3号機	サービス建屋地下1階(非管理区域)ホットラボ給気ダクトの防火ダンパーが、動作していることを確認した。当該ダンパーのヒューズを交換し修理済み。	2021/10/29	
3	その他	竜巻影響エリア車両監視システム点検にともなう停電作業時、中継局のアンテナが脱落していることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2021/11/01	

不適合情報

2021年11月5日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	原子炉建屋付属棟非放射性スチームドレン排水槽ポンプ(B)の再循環配管が折損して、排水槽内に落下していることを確認した。当該配管を修理。なお、落下した配管は回収済みで、排水機能にも影響なし。	2021/11/01	

不適合情報

2021年11月8日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)排気ルーバーの金網に破損を確認した。当該金網を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2021/10/31	
2	1号機	電動駆動原子炉給水ポンプ(A)給水流量調節小弁用三方弁の排気配管から、空気が排気されていることを確認した。調査の結果、当該三方弁の動作不良と推測。空気の供給元弁を全閉し、当該三方弁を交換。	2021/11/02	
3	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)において、1号機連絡通路扉(避難経路上の防火扉)のドアクローザーに動作不良を確認した。ドアクローザーを交換し修理済み。	2021/11/02	
4	3号機	原子炉建屋(管理区域)北西階段室(5箇所)、北東階段室(4箇所)、南西階段室(3箇所)、タービン建屋(非管理区域)西階段室(1箇所)、サービス建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)、南階段室(1箇所)の通路誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/10/25	
5	3号機	原子炉建屋管理区域の南西階段室(3箇所)、北東階段室(2箇所)の通路誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換済み。	2021/10/25	
6	4号機	常用照明用分電盤(CKT7)配線用遮断器が動作していることを確認した。絶縁抵抗測定の結果に異常はなかったが、当該遮断器を入操作しても復旧できないことを確認した。当該回路を遮断し、原因を調査。	2021/10/31	
7	6号機	中央制御室外気取入れダンパー動作不良にともなう同型弁の点検時、可燃性ガス濃度制御系連絡弁(B)の弁体と弁棒のケガキ線にズレを確認した。調査の結果、全閉状態において弁体とシート面に隙間はなく、閉止機能に異常がないことを確認し、対応不要と判断。	2021/10/29	
8	7号機	タービン建屋天井クレーン点検時、南側バッファー(緩衝材)に損傷および脱落を確認した。当該バッファーを交換。	2021/10/29	

不適合情報

2021年11月9日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	原子炉建屋最上階(管理区域)において、金属座金(径約25mm)を発見した。当該座金を回収。異物混入防止の徹底について注意喚起を実施。	2021/11/02	
2	7号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機(A)が自動起動した後、空気圧縮機(B)が異常を示す警報を発生して自動停止したことを確認した。調査の結果、空気圧縮機(B)の第1段圧力がOMPaだったことから、吸入・吐出弁廻りの動作不良と推定。当該部を点検・修理。	2021/11/04	
3	その他	福島第一原子力発電所で確認された振動測定器周波数設定の不備にともない、当発電所で使用している周波数測定器を調査したところ、12台中7台に使用開始から初回校正までの期間に設定不備があったことを確認した。当該期間に測定した機器を抽出し、再評価を実施。なお、初回校正以降の周波数は正常に設定されており、測定・評価に影響なし。	2021/11/04	

不適合情報

2021年11月10日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	原子炉建屋換気空調設備排気処理装置(C)のフィルタ点検時、フィルタに破損(21枚中21枚)を確認した。当該フィルタを交換。	2021/11/08	
2	5号機	非常用ディーゼル発電機(B)燃料移送ポンプ室入口の筐体枠に腐食を確認した。当該筐体枠を修理。	2021/11/04	
3	5号機	高電導度廃液系中和装置水素イオン濃度計入口流量計に指示不良を確認した。調査の結果、ストレーナーの詰まりと推定。当該ストレーナーを清掃。	2021/11/05	

不適合情報

2021年11月11日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G グレード 0件
- 2. G グレード 0件
- 3. G グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	電気設備点検時、5号主変圧器故障時間計に動作不良および指示不良を確認した。当該時間計を交換。	2021/11/05	
2	4号機	タービン建屋(管理区域)南東階段室(1箇所)、第6給水加熱器(A)(B)(C)室西側階段室(1箇所)、タービン建屋(非管理区域)西階段室(1箇所)、海水熱交換器建屋(非管理区域)北西階段室(1箇所)、高圧炉心スプレィディーゼル補機冷却水系連絡ダクト階段(1箇所)の通路誘導灯に不点を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/02	
3	5号機	作業のため変圧器類焼防止装置の手動消火を実施したところ、主変圧器自動排水配管に、ごく小さな孔の発生を確認した。当該配管を交換。	2021/11/05	
4	5号機	作業のため変圧器類焼防止装置の手動消火を実施したところ、低起動変圧器(5SA)自動排水配管に、ごく小さな孔の発生を確認した。当該配管を交換。	2021/11/05	
5	6号機	取水口除塵装置ヤード周辺プラント内放送設備(拡声装置)のスピーカ端子台が、腐食により脱落していることを確認した。当該放送設備を点検・修理。なお、放送機能に問題なし。	2021/11/04	

不適合情報

2021年11月12日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備 考
1	3号機	取水口装置トラベリングスクリーン(C)点検において、スクリーンバケットを取り外すため機器を逆回転させたところ、過負荷を示す警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2021/11/05	
2	7号機	中央制御室において、監視用テレビモニタ装置(No. 1~20)の映像が確認できなくなったことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2021/11/10	

不適合情報

2021年11月15日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	タービン建屋No. 1天井クレーン点検におけるNo. 1-No. 2間衝突防止装置(北側)の警報発報距離測定時、警報装置の動作不良を確認した。当該装置を交換。なお、装置交換完了まで注意喚起表示を実施。	2021/11/08	
2	その他	2021年11月11日、発電所敷地周辺に設置しているモニタリングポスト(9台)のうち、隣接している3台(No. 7~No. 9)において、11月9日午後9時頃から11月10日午前3時頃までの測定値が他のモニタリングポストの測定値の推移と異なり、異常の可能性があることを確認した。11月12日に当該モニタリングポストを調査したところ、測定機能は正常で正しくデータが記録されており、データを外部へ伝送する過程で何らかの不具合が発生し、データが適切に表示されなかったものと判断。当該事象の原因を調査し修理。なお、異常確認後、可搬式モニタリングポストによる測定で異常のないことを確認するとともに、伝送機能の修理完了まで代替測定を実施。 【2021年11月12日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2021111201p.pdf	2021/11/11	

不適合情報

2021年11月16日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側洗濯設備で補助建屋雑用水を使用したにもかかわらず、積算計の指示値が変動していないことを確認した。当該積算計を点検・修理。	2021/11/10	
2	1号機	タービン建屋地下2階(管理区域)低圧復水ポンプ室(A)室の下部エリアにおいて、古いタバコのフィルター(1個)を発見した。当該フィルターを回収。当該事象の周知および管理区域内へのタバコ持込禁止の呼びかけを徹底。	2021/11/11	
3	2号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)の冷媒吸込圧力計に指示不良を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2021/11/11	
4	3号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(D:予備機)点検時、シャフト振れ計測値が管理値を逸脱していることを確認した。当該シャフトを修理。	2021/11/11	
5	5号機	大湊側洗濯設備洗濯機(A号機)のドラム内に、雑用水系の水が流入したことを確認した。当該洗濯機の使用を禁止し点検・修理。	2021/11/11	
6	5号機	原子炉建屋(管理区域)南西階段室(1箇所)、南東階段室(1箇所)、北東階段室(3箇所)、原子炉建屋(非管理区域)南西階段室(2箇所)、中央制御室内階段(2箇所)、タービン建屋(管理区域)北東階段室(2箇所)、東階段室(1箇所)、復水器室南西入口(1箇所)、タービン建屋(非管理区域)東階段室(3箇所)の通路誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/08	
7	6号機	低電導度廃液系ろ過器(B)点検前の手動逆洗作業時、2回目の工程中に異常を示す警報が発生し、自動停止したことを確認した。当該ろ過器(B)の使用を禁止し点検・修理。	2021/11/09	

不適合情報

2021年11月17日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1.G グレード 0件

2.G グレード 0件

3.G グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋1階(管理区域)工具室内の床面に水溜まり(約640cc、汚染なし)を確認した。調査の結果、発電機密封油系空気抽出槽大気放出管の建屋貫通部に水の浸入を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を調査し修理。	2021/11/10	
2	3号機	所内温水系温水ループポンプ(A)起動時、出口圧力計に指示不良を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2021/11/14	

不適合情報

2021年11月18日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	低電導度廃液系排水槽(A)の水面に油膜を確認した。調査の結果、槽内の水はゴミ成分が多く分析できず、低電導度廃液系での処理が行えないことを確認した。排水槽のポンプを停止し、排水槽の水のろ過を実施。	2021/11/15	
2	1号機	中性子線サーベイメータの点検・校正時、調整前の指示値が管理値を逸脱していることを確認した。当該サーベイメータを調整。当該サーベイメータで測定した記録の調査および影響評価を実施。	2021/11/15	
3	4号機	原子炉建屋(管理区域)南西階段室(2箇所)、北東階段室(3箇所)、北西階段室(1箇所)の通路誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/01	
4	7号機	定期事業者検査におけるクラス3機器の供用期間中検査において、検査方法を目視検査(VT-1)にて実施すべきところ、目視検査(VT-3)で検査要領書を作成し、検査したことを確認した。誤った検査方法で検査を実施した設備を抽出し、再検査を実施。	2021/11/16	
5	その他	モニタリングポスト(MP-8)の低線量側データ伝送不具合の原因調査時、高線量側の線量値が一時的に上昇していることを確認した。調査の結果、検出器接続ケーブルの接触不良を確認した。高線量側データの伝送を停止し修理。	2021/11/16	

不適合情報

2021年11月19日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	海水熱交換器建屋地下1階(非管理区域)A系電気室の消防設備点検における防火ダンパー作動試験において、ダクト内の風量が多く煙感知器連動防火ダンパ設備が、5連のうち2連が閉止されないことを確認した。当該ダクト区域での火気・危険物取扱作業を禁止。当該ダンパーを修理。	2021/11/12	
2	1号機	放射性廃棄物処理設備スチームドレン処理系収集ポンプ(A)出口タンク攪拌絞り弁にシートパスを確認した。当該絞り弁を点検・修理。	2021/11/12	
3	1号機	原子炉建屋1階(非管理区域)北西エリアの消防設備点検における防火ダンパー遠隔起動試験において、ダクト内の風量が多く煙感知器連動防火ダンパ設備が、5連のうち2連が閉止されないことを確認した。当該ダクト区域での火気・危険物取扱作業を禁止。当該ダンパーを修理。	2021/11/15	
4	5号機	プラント内放送設備(拡声装置)の巡視点検時、設備架台が腐食しスピーカー用ケーブル接続箱が脱落していることを確認した。当該放送設備を点検・修理。なお、放送機能に問題なし。	2021/11/12	
5	5号機	大湊側雑固体廃棄物焼却設備建屋建築設備の巡視点検時、避難口となっているプロパンボンベ室扉が施錠され閉鎖されていたことを確認した。当該扉を解錠し、施錠原因を調査。	2021/11/15	

不適合情報

2021年11月22日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉補機冷却系(A)電動機点検時、負荷側軸受取付部収容ケースの内径寸法が、管理値を逸脱していることを確認した。当該収容ケースを修理。	2021/11/16	
2	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)排気管伸縮継手の点検時、継手サポートに位置ずれを確認した。当該サポート位置を修正。なお、非常用ディーゼル発電機(A)の機能に影響なし。	2021/11/17	
3	6号機	放射性廃棄物処理建屋地下1階(管理区域)高電導度廃液系弁室の天井に雨水の滴下および床面に水溜まり(約10cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。雨水の浸入箇所を調査し修理。	2021/11/15	
4	7号機	高圧窒素ガス供給系非常用窒素ガス(B)供給弁点検時、弁体および弁座に金属片らしき異物の付着、傷を確認した。当該異物を回収し、擦合わせにより傷を除去済み。当該事象の原因を調査。	2021/11/17	

不適合情報

2021年11月24日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1.G グレード 0件

2.G グレード 0件

3.G グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)消音器修理工事において、腐食による貫通孔を確認した。当該貫通孔を修理。なお、非常用ディーゼル発電機は待機中で、運転機能に影響なし。	2021/11/19	
2	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)2~3号機間連絡通路に水溜り(約60cc、汚染なし)を確認し、連絡通路の壁の伸縮継手部から地下水が浸入していることを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/11/18	
3	4号機	非常用ディーゼル発電機の屋外設備点検時、燃料移送ポンプの基礎ボルト・ナット(A:4本のうち3本、B:4本のうち1本、C:4本のうち2本)に腐食を確認した。当該ボルト・ナットを交換、修理。	2021/11/19	
4	5号機	大湊側洗濯設備の成型品用洗濯機(A)点検時、低圧電源盤(5A-4)の地絡電圧計が動作していることを確認した。当該洗濯機の使用を禁止し、原因を調査。	2021/11/18	
5	5号機	大湊側洗濯設備の成型品用洗濯機(B)点検時、低圧電源盤(5B-3)の地絡電圧計が動作していることを確認した。当該洗濯機の使用を禁止し、原因を調査。	2021/11/18	
6	6号機	高電導度廃液系濃縮装置点検後の試運転中に、高電導度廃液系濃縮処理装置蒸発缶密度計付近の温度上昇が通常より高いことを確認した。当該装置を停止し原因を調査。	2021/11/17	
7	7号機	タービン建屋地下2階(非管理区域、タービン建屋補機冷却系熱交換器エリア)の照明用埋込ボックス内貫通部調査時、埋込ボックス蓋をビスで締め付ける際、発光と音が確認され、ケーブルを損傷させた可能性があることを確認した。絶縁テープによる仮養生を実施。絶縁抵抗測定値に異常はなく、照明灯の点灯にも影響なし。当該ケーブルを切断・端末処理を行い復旧。	2021/11/17	
8	7号機	原子炉建屋換気空調系ポンプ分解点検後の試運転中に、フィルタサンプル流量計の動作不良を確認した。当該流量計を点検・修理。	2021/11/17	

不適合情報

2021年11月25日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G グレード 0件

2. G グレード 0件

3. G グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	500kV開閉所設備碍子洗浄変防用消火栓カバー用および電動弁ビット内(VP-6)用ヒーターの絶縁抵抗測定時、測定値が管理値を逸脱していることを確認した。絶縁不良箇所を特定し修理。	2021/11/19	
2	1号機	500kV・66kV開閉所設備ガス絶縁開閉装置操作空気タンク(No.7、No.8)用ヒーターの絶縁抵抗測定時、測定値が管理値を逸脱していることを確認した。当該タンク内を換気・乾燥し、再測定。	2021/11/21	
3	4号機	タービン建屋天井クレーン荷重試験検査における無負荷試験時、ウインチ巻下げ操作を行っても補巻きフックが下がらず、異常を示す警報が発生したことを確認した。原因を調査し修理。	2021/11/18	
4	6号機	サービス建屋空調用送風機(A)の電源投入時、小容量電源盤(6SA-3(2D))遮断器が入位置で保持できず自動停止し、異常を示す警報が発生したことを確認した。当該遮断器を点検・修理。	2021/11/19	
5	6号機	中央制御室において、エリアモニタ記録計(CH.15-28)のインクリボン打点機構部の不良により、データが印字されていないことを確認した。インクリボン打点機構部を停止中の同型記録計のものと交換し、データの印字が再開したことを確認済。なお、監視画面から代替データを採取・記録するとともに、データの印字が再開した記録計の信頼性確認を実施。	2021/11/21	
6	7号機	プラント内放送設備(拡声装置)点検における緊急放送およびサイレン鳴動時、放射性廃棄物処理設備エリアの電力増幅盤(PA17)出力レベルに不良を確認した。原因を調査し修理。	2021/11/19	

不適合情報

2021年11月26日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側雑固体廃棄物焼却設備建屋電気品室シャッターの動作確認時、シャッターが動作しないことを確認した。調査したところ、屋外の端子箱内のケーブルに断線および焦げ跡(通報基準以下)があることを確認した。電源停止の安全措置を行い、シャッターの使用を禁止。当該事象の原因を調査しケーブルを交換。	2021/11/19	
2	5号機	サービス建屋3階(非管理区域)西階段室(1箇所)の誘導灯に、不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/16	
3	5号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機のサーベランスにおいて、機関回転数計に指示不良を確認した。当該回転数計を点検・修理。なお、ディーゼル発電機の機能に問題なし。	2021/11/22	
4	6号機	2021年11月17日に原子炉建屋北側二重扉に異状が発生し、復旧後の監視強化を行っていたところ、11月19日に同様の事象が発生したことを確認した。当該二重扉を点検・修理。なお、原子炉建屋の負圧機能に問題なし。	2021/11/19	
5	その他	屋外放射線監視システムにおいて、モニタリングポスト(No. 5)の衛星回線に通信異常の警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査。なお、有線回線による通信に異状はなく、データ監視および外部へのデータ伝送に異状のないことを確認済み。	2021/11/24	

不適合情報

2021年11月29日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G グレード 0件

2. G グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	2021年8月に安全系(B系)の点検を予定していたところ、安全系(A系)に属する原子炉補機冷却系ポンプ(C)に不具合(メカニカルシールからの微小漏えい)が確認されたことから、当該不具合の是正完了まで、安全系(B系)の点検時期を延長することとした。その際、点検時期延長のための影響評価を行ったが、評価内容を記録に残していなかったことを確認した。記録作成が実施されなかったことに関する原因を調査。なお、点検時期延長における技術検討書を作成し、原子炉設備長期停止の特別な保全計画の点検時期見直しを実施。	2021/11/24	-

3. G グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	500kV開閉所での調査作業において、南新潟幹線1Lブッシング付近に地面の陥没(50cm×50cm程度)を確認した。立入禁止の区画表示を実施。当該箇所を修理。	2021/11/24	
2	5号機	照明用分電盤漏電遮断器変圧器の点検において、負荷遮断のため新地震計最大値表示装置パソコンを停止し、作業完了後に起動したところ、異常を示す警報が発生しネットワークが復旧されないことを確認した。当該表示装置パソコンを点検・修理。なお、地震データの記録は正常に行われており、観測に問題のないことを確認済み。	2021/11/22	
3	7号機	原子炉建屋地下1階(非管理区域)南側通路での固定式消火設備設置工事において、電動インパクトレンチがスペースヒーター分電盤(A)に接触し、地絡過電圧継電器ガラスカバーを損傷させたことを確認した。当該地絡継電器の健全性を確認し、カバーを交換。	2021/11/24	
4	その他	モニタリングポスト(No.7)で発生した不適合にともなう点検時、高線量率の模擬信号による伝送試験において、一時的に低線量率の測定データが新潟県へ伝送されなかったことを確認した。事象の発生を新潟県へ報告済。調査の結果、高線量率の測定・校正の切替スイッチに連動して低線量率のモードが切り替わることを失念していたことが原因と判明。また、手順書にも記載がなかった。手順書を改訂し、実施方法を周知。	2021/11/24	

不適合情報

2021年11月30日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。
 不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 11件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	海水熱交換器建屋1階(非管理区域)南西側壁面に、雨水の浸入および水溜まり(約3リットル)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/11/25	
2	3号機	タービン建屋屋上高層部に、アルミ製笠木のめくれを確認した。当該笠木を点検・修理。	2021/11/26	
3	5号機	大湊側雑固体廃棄物焼却設備建屋(非管理区域)B階段室(2箇所)の誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/15	
4	5号機	タービン建屋2階(管理区域)南東エリアに、天井からの雨水の浸入と思われる水溜まり(約300cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。漏えい箇所を特定し点検・修理。	2021/11/24	
5	5号機	タービン建屋2階(管理区域)南西エリア壁面に、雨水の浸入および水溜まり(約320cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/11/24	
6	5号機	タービン建屋1階(管理区域)南西活性炭ホールドアップ塔室西壁面に、雨水の浸入および水溜まり(約40cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/11/24	
7	5号機	海水熱交換器建屋1階(非管理区域)西側床面(2箇所)に、雨水の浸入と思われる水溜まり(約600cc)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2021/11/26	
8	6号機	放射性廃棄物処理設備点検における換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B)の電気・計装品の点検時、潤滑油ポンプ自動・単独運転タイマーの時間単位切替スイッチに動作不良を確認した。当該スイッチを交換。	2021/11/17	
9	6号機	サービス建屋加湿器(B)に異常を示す警報が発生したことを確認した。当該加湿器を停止し、加湿器(A)に運転を切り替え。当該加湿器(B)を点検・修理。	2021/11/23	
10	6号機	タービン建屋管理区域3階北側階段室(1箇所)、地下1階北西階段室(1箇所)、非管理区域1階南階段室(1箇所)の誘導灯に不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2021/11/24	
11	その他	大湊側補助ボイラー(4A)の停止中、缶水サンプル圧力計に指示不良を確認した。当該圧力計を点検・調整。	2021/11/25	

核物質防護に関する不適合情報

2021年11月2日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分 0件

2. 公表区分 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	業務車両が、核物質防護上の区域出入口を、異なる車両通行証を誤って使用して通過した。協力企業が委託先に当該通行証を手渡す際に取り違えに気付かなかったこと、見張人が他の照合すべき確認票にて当該通行証の照合を終えたと思い込んだことが原因。 対策として、通行証手渡しの際は取り違えがないかを双方で確認すること、見張人による照合手続きも1つずつ確実に実施することを周知徹底した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2021/09/29	9/22公開の「核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準」の運用を開始した10/1以前の事案であるが、9/22以降に発生し、新しい公表基準の区分に相当することから、重大性を考慮して公表するもの

3. 公表区分 0件

4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1		2021/10/01	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2021/10/05	
3		2021/10/13	

核物質防護に関する不適合情報

2021年11月10日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分 0件
- 2. 公表区分 0件
- 3. 公表区分 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	協力企業作業員より、核物質防護上の扉の鍵を所内にて紛失したとの報告を、警備員が受けた。 当該鍵については、他の者より間を置かず拾得物として届けられていることを確認した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2021/10/01	
2	核物質防護上の扉が、正常に開錠できない状態にあることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合期間中は、他の扉から出入りするとともに代替措置にて対応を実施した。	2021/10/17	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2021/10/18	

核物質防護に関する不適合情報

2021年11月17日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分 0件
- 2. 公表区分 0件
- 3. 公表区分 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	手荷物検査に使用する検査装置の一部が正常に動作しないことを確認した。当該不具合箇所は修理し、正常な状態に復旧した。なお、不具合発生期間中は、予備の検査装置にて維持した。	2021/10/22	

核物質防護に関する不適合情報

2021年11月30日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器の機器異常検出機能が、正常に動作しないことを確認した。侵入検知機能に異常なし。調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2021/11/15	